

That's 市民力



発行：長崎市市民協働推進室 〒850-0022長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

THAT'S 市民力7月号

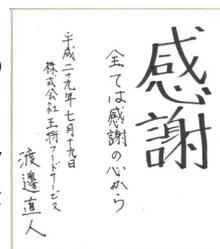
- 2017 自分新化講座 ～第2回～ 1
- ちゃんぽんミーティング 1
- 市民活動団体向け研修 2
- 災害ボランティア活動の心得 2



2017 自分新化講座 ～第2回～ 創業50周年を迎えて

～お客様満足を創造し続ける“感謝”の経営～

7月19日(水)、長崎伝習所2017「自分新化講座」の第2回を、長崎ブリックホール国際会議場で開催し、193人が参加しました。講師は、(株)王将フードサービス代表取締役社長の渡邊直人氏。「創業50周年を迎えて～お客様満足を創造し続ける“感謝”の経営～」をテーマに、お話しいただきました。講演では、これまでの経験に基づき、将来に夢と希望、志を持つことでどんな困難も必ず克服できること、命があることに感謝し、感謝の気持ちを言葉にしていくことが大切であることなど参加者へ伝えました。参加者からは、「感謝を伝えることの大切さを改めて感じた」や「渡邊社長の熱い思いに感動し、話しに聞き入りました」など多くの声が寄せられました。



次回は、第3回を8月1日(火)、第4回を9月13日(水)に開催します。普段長崎ではめったに聞けない豪華講師のラインナップです。ぜひ会場へ足をお運びください。

長崎を支える

「市民活動」を応援！

長崎市では、長崎市市民活動支援補助金(スタート・ジャンプ)の第2次募集を行っています。この補助金制度は、市民活動の活性化と充実を図り、市民と行政が一体となったまちづくりの推進のための制度です。第2次募集は、平成29年9月1日から平成30年3月31日までに行われる事業が対象となり、申し込みは7月31日(月)必着です。詳しくは、お問い合わせください。

また、8月23日(水)19時からアマランス研修室にて公開プレゼンテーション審査会を行います。ぜひ会場へお越しください。

ちゃんぽんミーティング

集まれ！まちづくりに取り組む青年部・青年団

6月30日(金)、ちゃんぽんミーティングの本年度第1回を開催しました。ちゃんぽんミーティングとは、市長と地域で活動しているグループや個人の方が軽食をとりながら、テーマに関する意見交換と市民のネットワークづくりを行う場として実施しています。今回は「集まれ！まちづくりに取り組む青年部・青年団」をテーマに、長崎市内で地域交流やイベントの開催など様々な活動をされている方たちが参加し、活動紹介と意見交換を行いました。

参加者からは、「青年部内でも世代間で考え方が違うが、若い世代の意見を聞くことが大切」や「イベントのPR」の話題では、「どうすれば多くの人に参加してもらい、定着させることができるか」の意見に、「SNSの活用」や「タウン誌への掲載」などそれぞれの参加者がアイデアを出し合い活発な意見交換が行われました。

次回は、8月30日(水)「広がれ！ボランティアの輪～学生編～2017」をテーマに開催します。



市民活動団体向け研修

「市民協働×地域課題」協働はそこにある！

8月17日(木)に、市民活動団体向け研修を開催します。日頃皆さんが、地域の困りごとや豊かな暮らしのためにと想いを持って取り組まれている市民活動。

その地域課題の中で“協働”で解決したいと考えていることはありませんか？

この研修では、長崎市の現状や近い将来に迎える状況を踏まえながら協働の基礎を学び、地域課題についての「ニーズ」や「解決手法」について実践的に考えます。

皆さんが考える「協働で取り組む事業」について、より事業の精度を高め、実現に向けてのカギを探しましょう。

■日時：8月17日(木) 18:30~20:30

■場所：長崎市立図書館 新興善メモリアルホール

■講師：川北秀人氏 (IHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表)

■テーマ：「市民協働×地域課題」協働はそこにある！

■対象：市民活動団体、公益的な活動に興味がある方

■受講料：無料

■申込期限：8月11日(金)



災害ボランティア活動の心得

平成29年7月九州北部豪雨の被災地では、災害ボランティアセンターが設置され、ボランティアの受け入れが始まっています。災害ボランティアセンターでは、ボランティアに来たかたの受付やオリエンテーション(活動上の注意)、被災されたかたからのニーズとボランティア希望者のマッチング、ボランティアへの資材の貸出しなどを行っています。また、ボランティアからの活動報告を受け、支援の状況を把握し、その後の活動の調整を行っています。

今回は、被災地での災害ボランティアに参加する際に気を付けておきたいポイントをご紹介します。

■情報収集

被災地に行く前に、被災地の災害ボランティアセンターのホームページを確認するなど、信頼できる情報を得ることです。個人のSNSなどの情報は、真偽が不明なものもあるので注意が必要です。自分自身で情報収集し、実際に被災地へボランティアに行くかを判断しましょう。



また、被災地の負担軽減のため電話等の直接連絡を控えることやトラブル防止のために、事前にご家族や周りの方の理解を得ることも大切です。

■ボランティア活動保険への加入

ボランティア活動保険は、活動中のケガや事故に遭った場合に適用されます。この保険は、被災地の災害ボランティアセンターでも加入はできますが、被災地への負担を少しでも減らすためと被災地へ向かう道中の事故が保障されるため、お住いの地域の社会福祉協議会であらかじめ加入手続きをお願いします。

■自己完結

ボランティアは自発的な意思と責任により活動することが基本です。被災地や周りの方に負担が掛からないよう、移動や宿泊先、食事等は事前にご自身で確保し、ゴミも持ち帰りましょう。自己責任・自己完結が原則となります。

■ボランティア活動も多種多様であると知る

災害ボランティアの活動は、被災された方の自宅の片付けから炊き出し、支援物資の整理など様々なものがあります。被災地に行かれた際の時期や現場の状況によって活動も異なり、ときには、活動ができない場合もあります。必ずしも希望に添った活動ができるとは限りませんので、理解したうえで行動しましょう。

■活動しやすい服装や装備

災害や被災状況、活動時期によって服装や装備は異なります。全国社会福祉協議会では「水害ボランティア作業マニュアル」として装備や注意点などをホームページに掲載していますので、参考にご覧ください。



最後に、被災地でボランティア活動するときには、被災されたかたのお気持ちに寄り添って、現地の決められたルールに従い、現場で対応に困った場合は、ご自身だけで判断せず、災害ボランティアセンターに連絡をしてください。

また、活動は無理をせず、ケガや事故が無いように気を付けましょう。